

2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024年2月2日



品川リフラクトリーズ株式会社

目次

1. 連結業績ハイライト
2. 営業利益（連結）の増減要因
3. セグメント別売上高及び営業利益
4. セグメント別概況 ①耐火物
5. セグメント別概況 ②断熱材
6. セグメント別概況 ③セラミックス
7. セグメント別概況 ④エンジニアリング
8. 2024年3月期通期 業績見通し
9. 2024年3月期通期 営業利益（連結）の増減要因見通し
10. トピックス（コーポレートキャラクター）

1.連結業績ハイライト

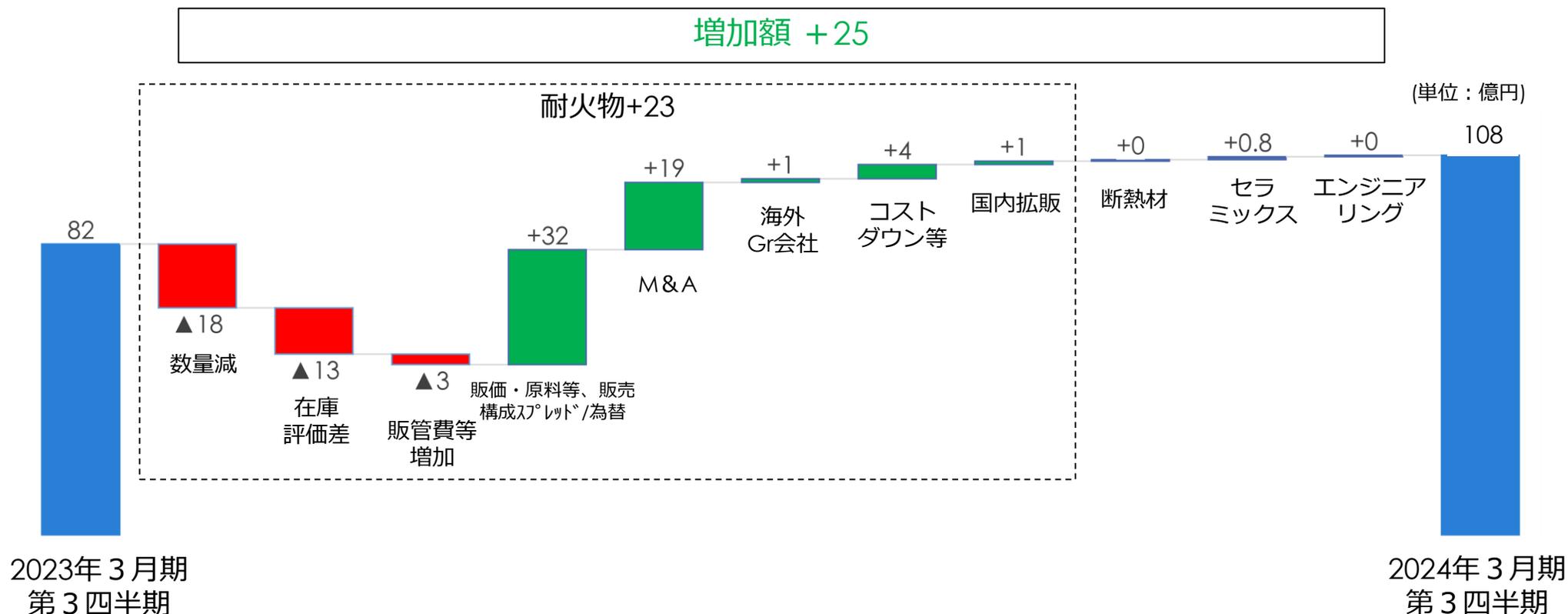
(単位：億円)

| | 2023年3月期 第3四半期 実績 | 2024年3月期 第3四半期 実績 | 前年同期比 | |
|----------------------|----------------------|----------------------|--------|----------|
| 売上高 | 943 | 1,091 | +147 | (+15.7%) |
| 営業利益 | 82 | 108 | +25 | (+31.5%) |
| 経常利益 | 89 | 115 | +26 | (+29.3%) |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 64 | 126 | +61 | (+94.1%) |
| <指標> ROS (営業利益率) | 8.7% | 9.9% | +1.2pt | |

注：前年同期比は本表記上の数値ではなく、一の位までの実績値で計算しています。以下同様

- 2024年3月期 第3四半期 国内粗鋼生産量は前年同期比1.3%減の6,537万トン。
- 原料費の高止まり、燃料費・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定と販売構成の改善によるスプレッドの拡大、新たに加わった海外事業の業績が寄与したこと、国内外への拡販活動等により、売上高・各段階利益共に第3四半期連結累計期間の過去最高業績を更新。
- 遊休土地（名古屋市港区）の売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は94.1%増。

2.営業利益（連結）の増減要因



国内粗鋼生産量減少による耐火物数量減、在庫評価差等のマイナス影響に対し、為替変動を踏まえた原料等の上昇に対する販価改定と販売構成の改善によるスプレッドの拡大、今期から新たに加わったブラジル耐火物事業の業績が寄与したこと、国内外への拡販活動、コストダウン等により、前年同期比+25億円の増益。

3.セグメント別売上高及び営業利益

(単位：億円)

| | | 2023年3月期 第3四半期 実績 | 2024年3月期 第3四半期 実績 | 前年同期比 | |
|----------|------|----------------------|----------------------|-------|----------|
| 耐火物 | 売上高 | 614 | 746 | +131 | (+21.4%) |
| | 営業利益 | 40 | 64 | +23 | (+58.9%) |
| 断熱材 | 売上高 | 136 | 136 | +0 | (+0.5%) |
| | 営業利益 | 25 | 25 | +0 | (+2.6%) |
| セラミックス | 売上高 | 16 | 26 | +10 | (+67.0%) |
| | 営業利益 | 0.9 | 1.7 | +0.8 | (+86.1%) |
| エンジニアリング | 売上高 | 179 | 188 | +8 | (+4.7%) |
| | 営業利益 | 11 | 11 | +0 | (+0.8%) |
| その他（不動産） | 売上高 | 6 | 6 | +0 | (+1.1%) |
| | 営業利益 | 3 | 4 | +0 | (+4.9%) |
| 合計 | 売上高 | 943 | 1,091 | +147 | (+15.7%) |
| | 営業利益 | 82 | 108 | +25 | (+31.5%) |

注1：当期より報告セグメント区分を上記に変更しており、前年同期についてはセグメント区分変更後の数値に組み替えて比較しています

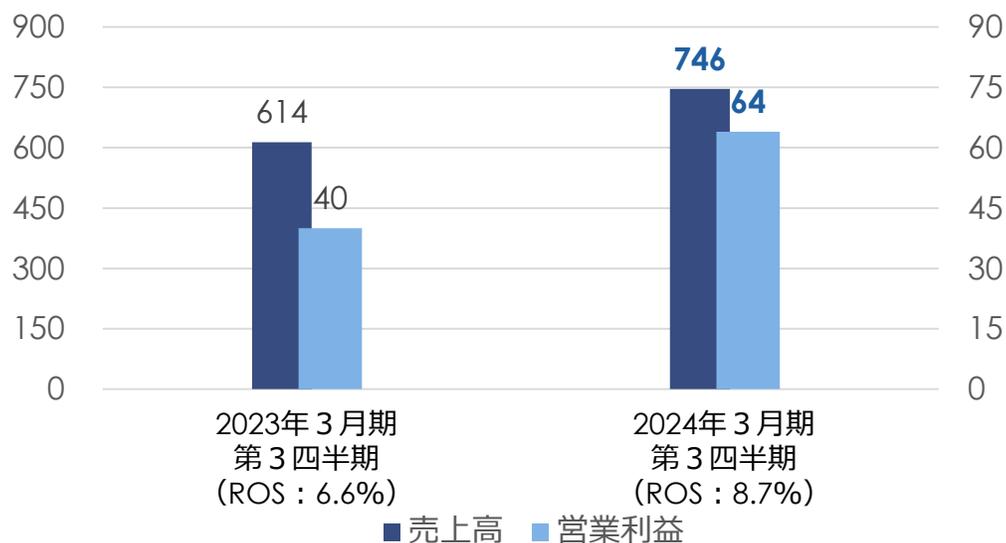
注2：合計額には、セグメント利益の調整額が含まれています

4.セグメント別概況 ①耐火物

業績推移

(単位：億円)

| | 2023年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 第3四半期 | 前年同期比 | |
|----------------|-------------------|-------------------|-------|----------|
| 売上高 | 614 | 746 | +131 | (+21.4%) |
| 営業利益 | 40 | 64 | +23 | (+58.9%) |
| ROS (営業利益率) | 6.6% | 8.7% | - | (+2.1Pt) |



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第3四半期業績について>

- 原料費の高止まり、燃料費・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定と販売構成の改善によるスプレッドの拡大。
- 新たに加わったブラジルSRBの業績が寄与。
- 国内外への拡販が進展。

<今後の課題>

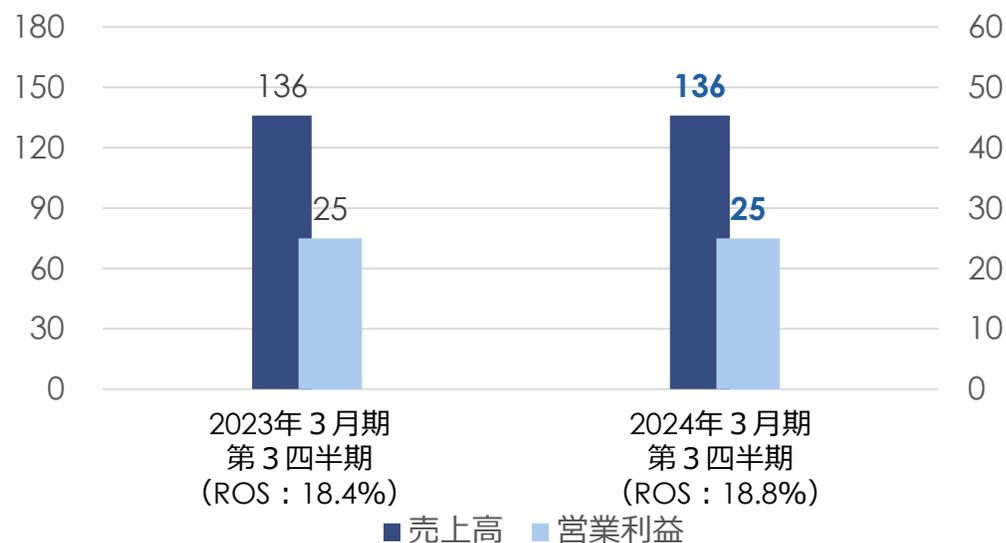
- アルミ業界を始め国内の非鉄・工業炉向け製品の開発・拡販の強化。
- さらなる事業提携やM&Aによる海外ビジネスの強化・拡大。
- 使用後耐火物のリサイクルや耐火物・断熱材・エンジニアリング技術の融合による熱ロス低減を図り、お客様のCO2排出量削減に貢献。

5.セグメント別概況 ②断熱材

業績推移

(単位：億円)

| | 2023年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 第3四半期 | 前年同期比 | |
|----------------|-------------------|-------------------|-------|----------|
| 売上高 | 136 | 136 | +0 | (+0.5%) |
| 営業利益 | 25 | 25 | +0 | (+2.6%) |
| ROS (営業利益率) | 18.4% | 18.8% | - | (+0.5Pt) |



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第3四半期業績について>

- 国内の半導体関連製品の販売は減少。
- 国内外のプラント向け耐火断熱れんがの販売が増加。
- 海外のセラミックファイバーの販売が増加。

<今後の課題>

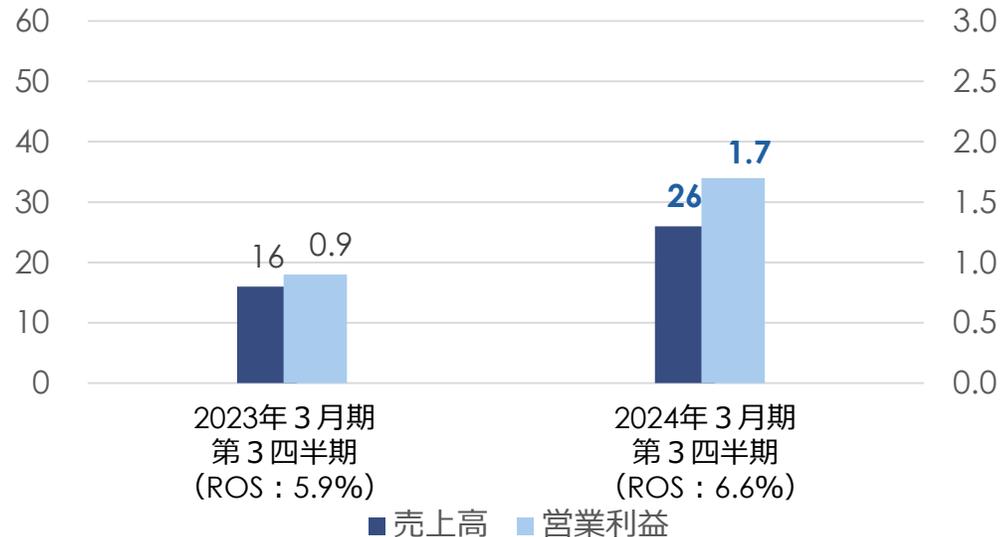
- コア事業である断熱材分野では、顧客満足度向上をコンセプトにグループ内連携強化によるグローバル展開の加速化。
- 自動車・燃料電池用パーツ及び半導体・電子部品加熱用ツール等の新規成長事業分野への拡販。
- 高品質と高性能なオンリーワン商品の市場展開。

6.セグメント別概況 ③セラミックス

業績推移

(単位：億円)

| | 2023年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 第3四半期 | 前年同期比 | |
|----------------|-------------------|-------------------|-------|----------|
| 売上高 | 16 | 26 | +10 | (+67.0%) |
| 営業利益 | 0.9 | 1.7 | +0.8 | (+86.1%) |
| ROS (営業利益率) | 5.9% | 6.6% | - | (+0.6Pt) |



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第3四半期業績について>

- 昨年を買収した米国SSCAの業績が寄与。

<今後の課題>

- 半導体製造装置や液晶製造装置分野などの既存市場の深耕。
- 新規3分野の市場（特殊蒸着材、大型ロール材、リチウムイオン電池分野）への参入による拡販。
- 製品ラインナップの拡充と高い品質管理による競争力の強化。
- 外部技術の導入、M&A・事業提携等による技術力の強化と事業規模の拡大。

7.セグメント別概況 ④エンジニアリング

業績推移

(単位：億円)

| | 2023年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 第3四半期 | 前年同期比 |
|----------------|-------------------|-------------------|------------|
| 売上高 | 179 | 188 | +8 (+4.7%) |
| 営業利益 | 11 | 11 | +0 (+0.8%) |
| ROS (営業利益率) | 6.6% | 6.4% | - (▲0.2Pt) |

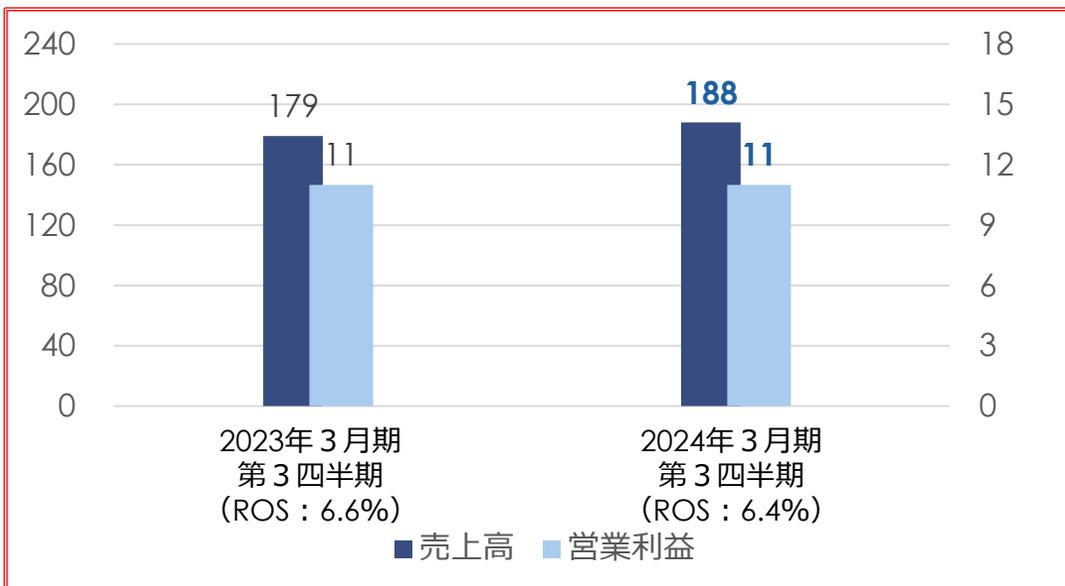
「業績レビュー」と「今後の課題」

<第3四半期業績について>

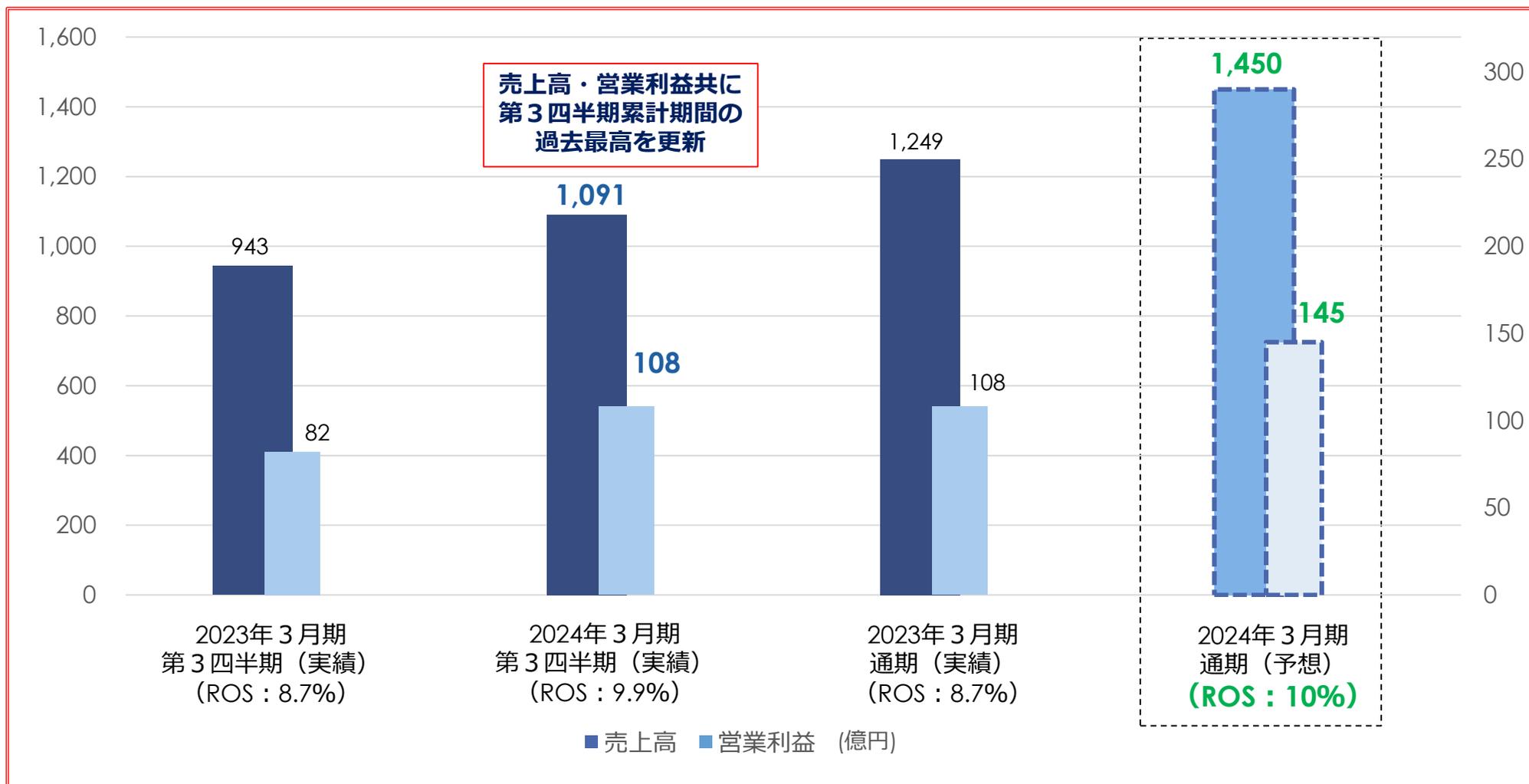
- 各所工事案件が増加。
- 大型工事の減少等、売上構成差により、ROSが若干低下。

<今後の課題>

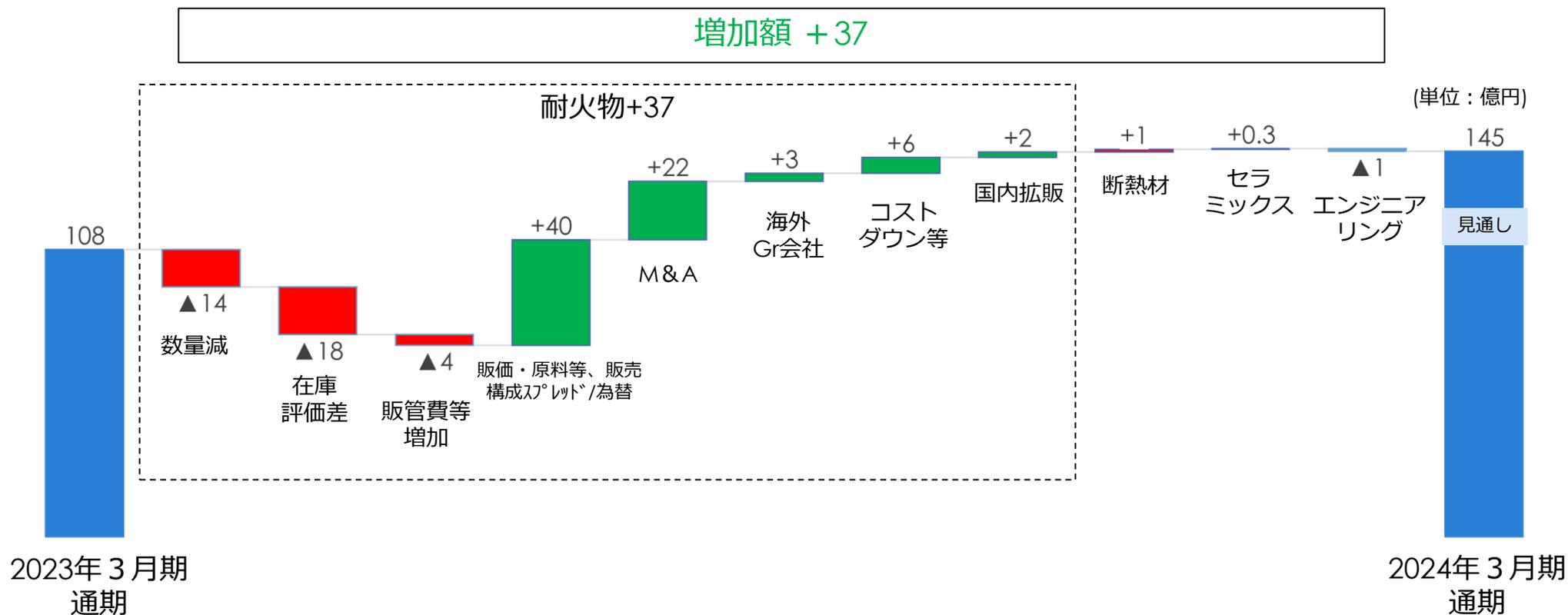
- 既存分野では、安全・品質・技術面においてお客様満足度の向上と大型案件の獲得。
- 高温プロセスを持つ産業の省エネ及び耐火物リサイクル事業等、カーボンニュートラルに向けた取組みへの貢献。
- DX化や機械化等による高度なエンジニアリング技術の提供。



8. 2024年3月期通期 業績見通し



9.2024年3月期通期 営業利益（連結）の増減要因見通し



耐火物数量減は前回公表時（2023年11月2日）に対し、マイナス影響（▲10→▲14）が拡大見込みも海外Gr会社の販売増（▲2→+3）があり、為替変動を踏まえた原料等の上昇に対する販価改定と販売構成の改善によるスプレッドの拡大、今期から新たに加わったブラジル耐火物事業の業績が寄与すること、国内拡販、コストダウン等により、前年同期比+37億円の増益見通しは変更なし。

10. トピックス（コーポレートキャラクター）

【目的と経緯】

- ・耐火物と当社の認知度向上を目的に「リフラくん」が当社コーポレートキャラクターに就任
- ・当社社内報の企画から誕生の「リフラくん」は体が耐火物で出来たアライグマのキャラクター
- ・名前の由来は英語の「Refractory」（耐火物）と「Racoon」（アライグマ）から命名

【「リフラくん」の特徴】

- ・れんがや窯炉に詳しいアライグマの男の子
- ・体は耐火物なので火に強い
- ・体の中が窯になっていてピザが焼けるという噂も
- ・みんなの安全を願っていて不安全行動には厳しい
- ・おっちょこちょいな面があり、転ぶと体が欠ける
- ・大好きなサウナの後の水風呂で亀裂を生じることがある



リフラくん™（商標出願中）



2023年12月14日 兵庫県赤穂市“義士祭”にて「リフラくん」デビュー

今後は社内外の各種イベントへの出演、「リフラくん」を通じた情報発信やメディアへの露出を計画中

ご注意

本資料は、2024年3月期第3四半期決算（2023年4月～2023年12月）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2024年2月2日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。